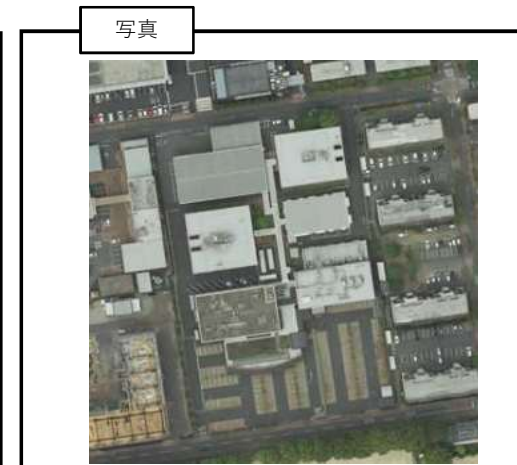


個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	51	施設名称	産業技術センター(農産加工)
	所在地	熊本市東区東町	施設管理所属	産業支援課
	敷地面積	2,111.9 m ²	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	2,146.5 m ²	用途地域	第二種中高層住居専用地域
施設の目的	県行政の施策実施のための施設			



(出典:国土地理院)

2. 建物別一覧

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	研究棟	1988	RC	2,146.5	

3. 建物毎の概要等

(1) 研究棟

① 概要

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	研究棟	1988	RC	2,146.5	4	0	32

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	17	13	2
適合度②/①	0.40	0.72	0.63	0.46	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年 ※(令和30年)
	・長寿命化要件に該当するが、継続利用(90年)への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。	
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度に課題)	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		61.4		232.8					19.8	2.7	10.6
維持管理費		9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
撤去費											
合計		71.0	9.5	242.3	9.5	9.5	9.5	9.5	29.3	12.2	20.2
累計		71.0	80.5	322.8	332.4	341.9	351.5	361.0	390.3	402.5	422.7

施設アセスメント調査から算出。

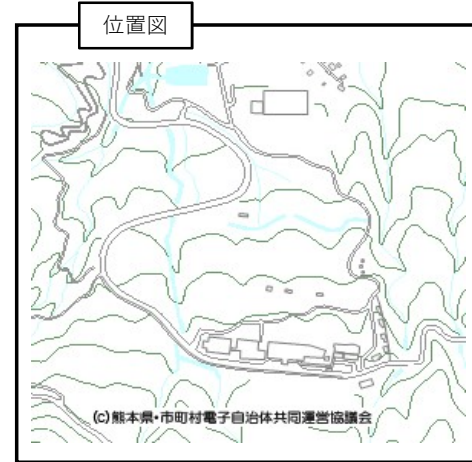
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	52	施設名称	野外劇場アスペクタ
	所在地	阿蘇郡南阿蘇村	施設管理所属	観光企画課
	敷地面積	借地	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	2,720.3 m ²	用途地域	
施設の目的	県民の文化施設として阿蘇南外輪山の大自然の中に設置した世界最大級の野外ステージ			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	野外コンサート場	1987	RC	2,720.3	

3. 建物毎の概要等

(1) 野外コンサート場

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	野外コンサート場	1987	RC	2,720.3	2	0	33

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	12	19	14	0
適合度②/①	0.30	0.48	0.70	0.50	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年
※(令和59年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和7(2025)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用								323.7			
更新・修繕費		373.7		163.5		134.1	0.8		19.2	4.8	46.2
維持管理費		12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1	12.1
撤去費											
合計		385.8	12.1	175.6	12.1	146.2	12.8	335.8	31.3	16.8	58.3
累計		385.8	397.9	573.4	585.5	731.8	744.6	1,080.4	1,111.7	1,128.5	1,186.8

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	53	施設名称	熊本産業展示場
	所在地	上益城郡益城町福富	施設管理所属	販路拡大ビジネス課
	敷地面積	121,229.2 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	19,759.2 m ²	用途地域	
施設の目的	産業展示やイベント、ライブ、会議が行われるコンベンション施設			

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	展示場	1998	RC	19,759.2	



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 展示場

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	展示場	1998	RC	19,759.2	3	0	23

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	21	23	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.78	0.82	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和70年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用				2,932.1	110.1				3.6	163.8	180.8
更新・修繕費		87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8	87.8
維持管理費											
撤去費											
合計		87.8	87.8	3,019.9	197.9	87.8	87.8	87.8	91.3	251.5	268.6
累計		87.8	175.6	3,195.4	3,393.4	3,481.2	3,569.0	3,656.7	3,748.1	3,999.6	4,268.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	54	施設名称	県伝統工芸館
	所在地	熊本市中央区千葉城町	施設管理所属	販路拡大ビジネス課
	敷地面積	4,094.3 m ²	都市計画区域	市街化区域
	延床面積	3,017.3 m ²	用途地域	第二種住居地域
施設の目的	人々の暮らしと密接に結びつき、古くから使用されてきた熊本県の伝統工芸品を、展示販売しています。			

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1982	RC	3,017.3	



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1982	RC	3,017.3	2	1	39

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	20	19	14	3
適合度②/①	0.30	0.80	0.70	0.50	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数
	90年 ※(令和54年)
A・B項目から導かれる方向性	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。
	・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や駐車場に課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		359.1									
更新・修繕費		61.0		274.1		169.4	10.2		5.5		38.5
維持管理費		13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
撤去費											
合計		433.5	13.4	287.5	13.4	182.8	23.6	13.4	18.9	13.4	51.9
累計		433.5	446.9	734.4	747.8	930.6	954.2	967.6	986.6	1,000.0	1,051.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

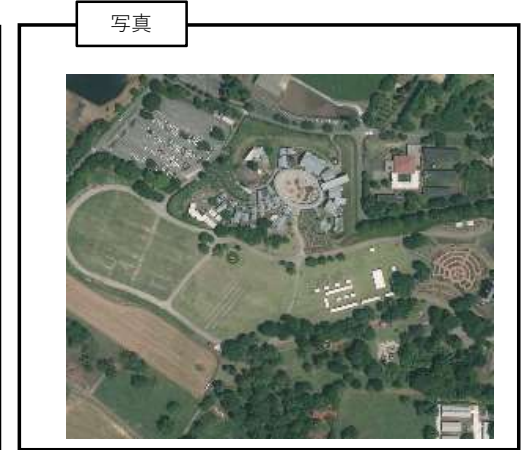
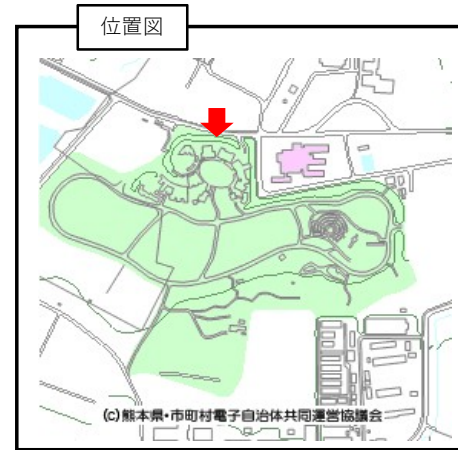
※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	55	施設名称	農業公園
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農林水産政策課
	敷地面積	279,058.9 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	3,709.4 m ²	用途地域	
施設の目的		県民の農業理解を深め、また農業情報の発信や 自然や緑に親しむいこの場である		

2. 建物別一覧

建物番号	棟名	建築年	構造	延床面積	備考
1	農業館	1991	RC	1,432.2	
2	管理事務所	1991	RC	290.7	
3	多目的ホール	1991	RC	450.6	
4	物産館	1991	RC	436.4	
5	和風レストラン	1991	RC	291.5	
6	会議棟	1991	RC	808.0	



(出典: 国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 農業館

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	農業館	1991	RC	1,432.2	2	0	30

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	16	16	2
適合度②/①	0.40	0.64	0.59	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年 ※(令和63年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・令和6(2024)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	
	・令和7(2025)年度に現有施設の保全を目的とした改修工事(電気設備、空調設備等)を実施予定。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		159.1		192.8	0.1		0.3		17.9	2.6	16.5
維持管理費		6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4
撤去費											
合計		165.5	6.4	199.1	6.5	6.4	6.6	6.4	24.3	9.0	22.9
累計		165.5	171.8	370.9	377.5	383.8	390.4	396.8	421.1	430.1	453.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2) 管理事務所

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	管理事務所	1991	RC	290.7	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	6	14	19	17	0
適合度②/①	0.60	0.56	0.70	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和33年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・令和4(2022)年度に現有施設の保全を目的とした改修工事(外壁、空調設備等)を実施予定。	

(3) 多目的ホール

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	多目的ホール	1991	RC	450.6	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	21	18	0
適合度②/①	0.40	0.72	0.78	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和33年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・令和5(2023)年度に現有施設の保全を目的とした改修工事(外部建具、空調設備等)を実施予定。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		57.1		14.3	0.0		0.1		3.6	0.5	3.3
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		58.4	1.3	15.6	1.3	1.3	1.3	1.3	4.9	1.8	4.6
累計		58.4	59.7	75.3	76.6	77.9	79.2	80.5	85.5	87.3	91.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		61.1		32.3	0.0	22.5	0.1		3.2	0.8	2.5
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		63.1	2.0	34.3	2.0	24.5	2.1	2.0	5.2	2.8	4.5
累計		63.1	65.1	99.4	101.5	125.9	128.0	130.0	135.2	138.0	142.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)物産館

①概要

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	物産館	1991	RC	436.4	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	15	16	15	2
適合度②/①	0.40	0.60	0.59	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和33年)
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 令和5(2023)年度に現有施設の保全を目的とした改修工事(外壁、空調設備等)を実施予定。

(5)和風レストラン

①概要

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	和風レストラン	1991	RC	291.5	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	15	19	15	0
適合度②/①	0.40	0.60	0.70	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和33年)
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ただし、現在和風レストランとしての機能は果たしていないため、転用及び廃止も視野に今後の利用方法を検討する。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		59.5		52.8	0.0		0.1		5.5	0.8	
維持管理費		1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
撤去費											
合計		61.4	1.9	54.7	2.0	1.9	2.0	1.9	7.4	2.7	1.9
累計		61.4	63.3	118.1	120.0	122.0	124.0	125.9	133.3	136.1	138.0

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		39.7		35.3	0.0		0.1		3.7	0.5	
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		41.0	1.3	36.5	1.3	1.3	1.3	1.3	4.9	1.8	1.3
累計		41.0	42.3	78.9	80.2	81.5	82.8	84.1	89.1	90.9	92.2

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)会議棟

①概要

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	会議棟	1991	RC	808.0	1	0	30

※築年数はR3.3月末時点

②利用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分 【評価項目数①】	建替	転用	継続利用 (60年)	継続利用 (90年)	廃止
【10】	【25】	【27】	【28】	【7】	
適合数②	4	16	20	16	0
適合度 ②/①	0.40	0.64	0.74	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数	90年
	※(令和63年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。
	・令和5(2023)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。
	・令和6(2024)年度に現有施設の保全を目的とした改修工事(外部シーリング、空調設備等)を実施予定。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		88.4		119.4	0.1		0.1		4.4	1.5	5.7
維持管理費		3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
撤去費											
合計		92.0	3.6	123.0	3.7	3.6	3.7	3.6	8.0	5.1	9.3
累計		92.0	95.6	218.6	222.2	225.8	229.6	233.2	241.2	246.3	255.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

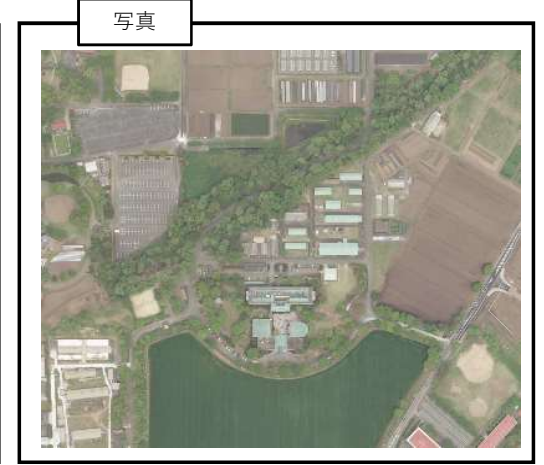
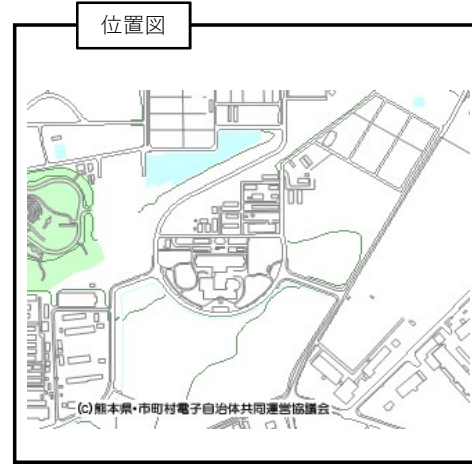
1. 施設概要

基本情報	施設番号	56	施設名称	農業研究センター
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	1,033,354.8 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	7,582.1 m ²	用途地域	
施設の目的	新品種の育成、新たな栽培・飼養管理技術の確立等の研究を中心に、本県の農業分野における技術革新の拠点・農業情報の発信基地としての役割を果たす。			

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1989	RC	7,582.1	



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1989	RC	7,582.1	3	1	32

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	17	14	1
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年 ※(令和61年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・令和8(2026)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率に課題)	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用										902.3	
更新・修繕費		367.9		1,284.8					162.6		
維持管理費		33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7	33.7
撤去費											
合計		401.6	33.7	1,318.5	33.7	33.7	33.7	33.7	196.3	936.0	33.7
累計		401.6	435.3	1,753.8	1,787.5	1,821.2	1,854.8	1,888.5	2,084.8	3,020.8	3,054.5

施設アセスメント調査から算出。

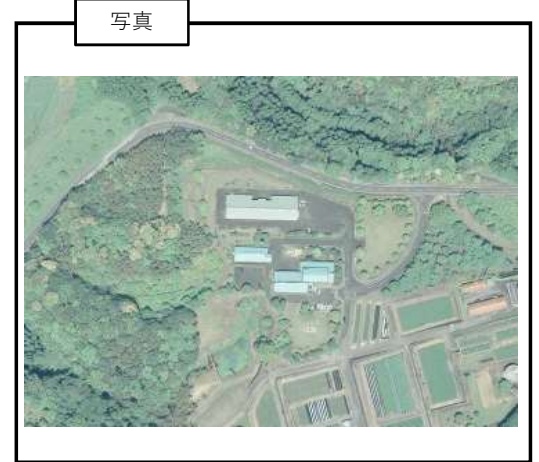
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着眼して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	57	施設名称	茶業研究所
	所在地	上益城郡御船町	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	71,232.0 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	922.8 m ²	用途地域	
施設の目的	中山間地帯を中心に行われている茶業についての実証試験研究を行っている。			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理実験棟	1989	RC	922.8	

3. 建物毎の概要等

(1) 管理実験棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理実験棟	1989	RC	922.8	2	0	32

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	2	15	17	12	2
適合度②/①	0.20	0.60	0.63	0.43	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和31年)
	・長寿命化要件に該当するが、継続利用(90年)への適合性が低いため、適切な保全を行いながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		56.1	49.5	52.6		80.3	0.3		5.1		1.6
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		60.2	53.6	56.7	4.1	84.4	4.4	4.1	9.2	4.1	5.7
累計		60.2	113.7	170.4	174.5	258.9	263.2	267.3	276.5	280.6	286.3

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

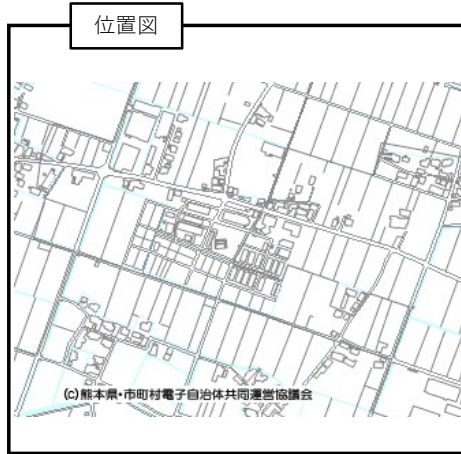
1. 施設概要

基本情報	施設番号	58	施設名称	アグリシステム総合研究所
	所在地	八代市鏡町	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	46,917.7 m ²	都市計画区域	その他の区域
	延床面積	2,618.5 m ²	用途地域	
施設の目的	いぐさの品種育成や栽培加工技術の改善及びアグリビジネスへの支援			

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館実験棟	1971	S	693.5	
2	研修館	1993	RC	510.0	
3	アグリビジネスセンター	2015	W	1,134.0	
4	長期貯蔵技術研究棟	2020	S	281.0	



(出典: 国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館実験棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館実験棟	1971	S	693.5	1	0	50

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	6	17	20	16	1
適合度②/①	0.60	0.68	0.74	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和43年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		82.5									
更新・修繕費		31.8	14.5	21.0		83.9	0.1		5.0	28.0	5.0
維持管理費		3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
撤去費											
合計		117.4	17.6	24.1	3.1	86.9	3.2	3.1	8.0	31.0	8.1
累計		117.4	135.0	159.1	162.2	249.1	252.3	255.4	263.4	294.5	302.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2) 研修館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	研修館	1993	RC	510.0	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	17	19	16	0
適合度②/①	0.50	0.68	0.70	0.57	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和65年)
・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。		

(3) アグリビジネスセンター

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	アグリビジネスセンター	2015	W	1,134.0	2	0	6

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	13	17	17	0
適合度②/①	0.40	0.52	0.63	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和57年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。		

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		44.1		17.5		15.6			6.9		1.7
維持管理費		2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
撤去費											
合計		46.4	2.3	19.7	2.3	17.8	2.3	2.3	9.2	2.3	4.0
累計		46.4	48.7	68.4	70.7	88.5	90.8	93.0	102.3	104.5	108.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費			8.0	2.0		143.7				8.0	15.7
維持管理費		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
撤去費											
合計		5.0	13.0	7.0	5.0	148.8	5.0	5.0	5.0	13.0	20.8
累計		5.0	18.1	25.1	30.1	178.9	183.9	189.0	194.0	207.0	227.8

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4)長期貯蔵技術研究棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	長期貯蔵技術研究棟	2020	S	281.0	1	0	1

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	23	18	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.85	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和62年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費						2.2		2.7	0.7		9.3
維持管理費		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
撤去費											
合計		1.2	1.2	1.2	1.2	3.4	1.2	3.9	1.9	1.2	10.6
累計		1.2	2.5	3.7	5.0	8.4	9.7	13.6	15.5	16.8	27.4

施設アセスメント調査から算出。

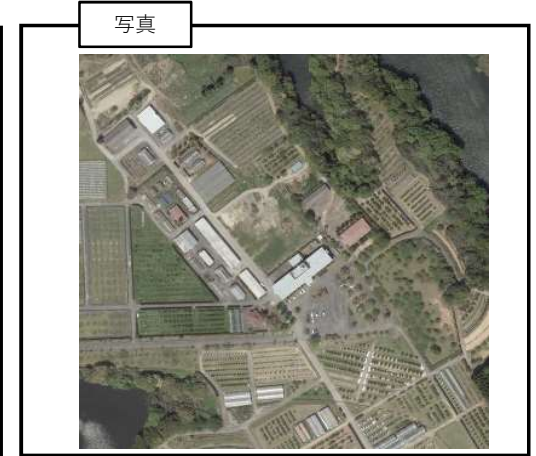
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	59	施設名称	果樹研究所
	所在地	宇城市松橋町豊福	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	241,926.9 m ²	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	2,571.9 m ²	用途地域	
施設の目的	新しい時代の要請に対応できる、優れた果樹品種の選抜・育成や美味しい果実の安定生産を目指した技術開発を行う			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1972	RC	1,994.8	
2	作業室棟	1972	S	240.3	
3	研修館	1974	S	336.8	

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1972	RC	1,994.8	3	0	49

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	18	15	1
適合度②/①	0.30	0.72	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和44年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用度や道路アクセスに課題)	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		73.6		13.8			0.4		18.9	3.5	30.1
維持管理費		8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9
撤去費											
合計		82.5	8.9	22.6	8.9	8.9	9.2	8.9	27.8	12.4	39.0
累計		82.5	91.4	114.0	122.9	131.7	140.9	149.8	177.6	189.9	228.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)作業室棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	作業室棟	1972	S	240.3	1	0	49

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	12	19	14	1
適合度②/①	0.40	0.48	0.70	0.50	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和14年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和9(2027)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

(3)研修館

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	研修館	1974	S	336.8	1	0	46

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	12	19	14	0
適合度②/①	0.30	0.48	0.70	0.50	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和16年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・令和12(2030)年度を目安として建替等の検討に着手する必要がある。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		27.8					1.4		1.8	0.4	
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		28.9	1.1	1.1	1.1	1.1	2.5	1.1	2.9	1.5	1.1
累計		28.9	29.9	31.0	32.1	33.1	35.6	36.7	39.6	41.0	42.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		40.7					2.3	0.1	3.2		
維持管理費		1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
撤去費											
合計		42.2	1.5	1.5	1.5	1.5	3.7	1.6	4.7	1.5	1.5
累計		42.2	43.7	45.2	46.7	48.2	52.0	53.6	58.3	59.8	61.3

施設アセスメント調査から算出。

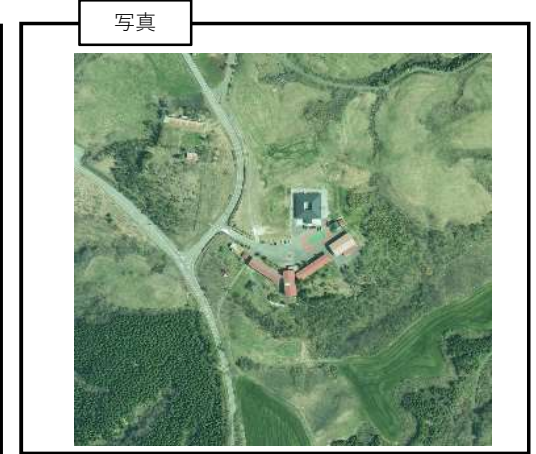
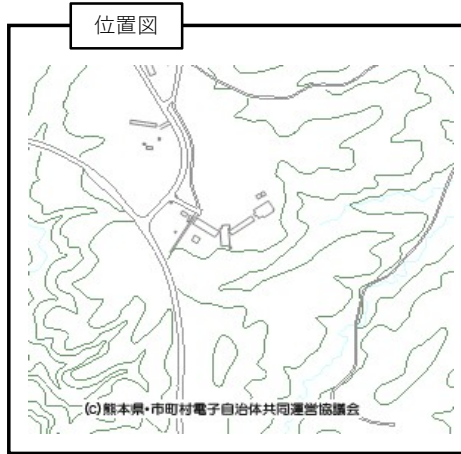
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	60	施設名称	草地畜産研究所
	所在地	阿蘇市西湯浦	施設管理所属	農業技術課
	敷地面積	2,343,437.0 m ²	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	1,371.7 m ²	用途地域	
施設の目的	スマート農業技術を活用した草地及び放牧牛の管理技術、草地を高度に利用した肉用牛及び牛肉生産技術、農用馬の安全で省力的な繁殖管理技術に関する研究を行っている			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	体育館	1993	S	440.9	
2	放牧技術研究棟	2015	RC	678.0	
3	肉用牛等繁殖技術研修施設	2019	S	252.8	

3. 建物毎の概要等

(1) 体育館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	体育館	1993	S	440.9	1	0	27

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	18	19	18	0
適合度②/①	0.30	0.72	0.70	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和35年)
	・適切な保全を行いながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(道路アクセスに課題)	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		38.4		83.8			0.1		7.1		
維持管理費		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
撤去費											
合計		40.3	2.0	85.8	2.0	2.0	2.0	2.0	9.1	2.0	2.0
累計		40.3	42.3	128.0	130.0	132.0	134.0	136.0	145.0	147.0	148.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)放牧技術研究棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	放牧技術研究棟	2015	RC	678.0	1	0	5

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	15	22	17	0
適合度②/①	0.30	0.60	0.81	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和87年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

(3)肉用牛等繁殖技術研修施設

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	肉用牛等繁殖技術研修施設	2019	S	252.8	1	0	2

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	13	20	15	0
適合度②/①	0.30	0.52	0.74	0.54	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和61年)
	・適切な保全を行いながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		85.8		49.1		6.0	3.8				10.4
維持管理費		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
撤去費											
合計		88.8	3.0	52.1	3.0	9.0	6.8	3.0	3.0	3.0	13.4
累計		88.8	91.9	144.0	147.0	156.0	162.7	165.8	168.8	171.8	185.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費											
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
累計		1.1	2.2	3.4	4.5	5.6	6.7	7.9	9.0	10.1	11.2

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。